

特別委員会報告

- ◇競馬事業調査特別委員会
- ◇北上川治水対策特別委員会
- ◇奥州市地域医療調査特別委員会
- ◇岩手・宮城内陸地震等被害調査特別委員会

競馬事業調査特別委員会

競馬事業調査特別委員会は、議会開会中の9月18日委員会を開催し、市長、副市長等のほか、県競馬組合から新任の宮一夫常勤副管理者等の出席を求め、質疑を中心に調査しました。

最初に競馬組合から、第2期（4月4日～8月17日）までの発売成績や第2期の収支実績と年間の収支見通し、年間収支計画額の見直し等について説明を受けました。

第2期までの発売成績は、計画比100・1%ですが、自場発売が91・6%と大きく落ち込んでいることなどから、第2期の収支実績が経常損益で2千6百万円、年間収支見込では1億9千3百万円の赤字となる見通しです。そのため9月15日開催された岩手県競馬組合運営協議会で、賞典費6千2百万円、事業運営費1億3千百万円、合計1億9千3百万円を削減し、収支均衡を図るための計画の見直しが決定されたと説明されました。

会議では計画見直し、経費削減等に対する競馬関係者の反応や今後の見通しなどについて質疑が行なわれました。

質疑終了後、委員長の「今議会



9月18日開催の競馬事業調査特別委員会

は継続審査とし閉会中も審査を行い、12月議会で委員会の審査結果をとりまとめ、特別委員会の調査を終了したい。」という提案が全会一致で承認されました。

北上川治水対策特別委員会

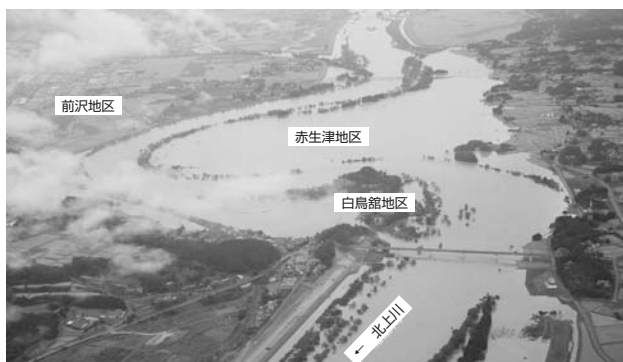
北上川治水対策特別委員会は、9月18日に都市整備部長、土木課長等の出席を求め、21年度の国の補正予算による奥州市の北上川上流改修事業の進捗状況について調査しました。

稲瀬地区は、事業費3億6千万円の堤体補強を図るため、事業概要説明及び測量立ち入り説明会が

開催され、今後は用地契約をして来年4月が工事着手予定であります。

赤生津地区は、事業費5億6千万円の築堤で、現況測量立ち入り説明会、築堤内容説明と基盤整備事業の座談会が開催され、今後は設計内容説明会を開催します。白鳥館及び前沢地区は、現況測量立ち入り説明会を開催し、完成目標の時期は赤生津地区と同様であります。鶴ノ木地区は、今年度中に浸水家屋移転事業を行うとのことです。

二渡地区は、事業費3億7千万円の堤体補強等で、地元への説明会は9月中に行いたいとのこと



平成19年9月17日洪水の状況（赤生津堤防予定地区）